



新座三中だより

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校
令和4年7月20日
新座市池田1-1-1
TEL 048-479-4052
FAX 048-482-0133



【三中印】
ご覧下さい

夏休みに考えて欲しいこと

校長 和久井 功雄

お陰様で1学期が終了し夏休みになります。それぞれがどんな夏休みを過ごすのか気になります。勉強しなくてもよい、という開放感が大きかったと数十年前を振り返りますが、有意義な夏休みを過ごして欲しいと思います。終業式に次のような話をしました。ご家庭でも話題にさせていただけると幸いです。

なぜ勉強するのか？ なぜ働くのか？

◇だれもが疑問に思ったことがあると思います。また、子供に聞かれたら何と答えるでしょうか。子供たちには自分で考えて自分なりの答えを持って欲しいと伝えました。

10000時間 の法則

◇1つのことについて、10000時間の練習や努力、学習などをすると一流になるとも言われています。10000時間の練習とは1日3時間で約10年です。昔から一人前になるには10年かかると言われてきましたが、様々なことが進歩した現代でも変わらないようです。毎日3時間は大変なことです。やり続けるには好きなことであることが前提でしょう。だからこそ自分の好きなことを見つけて欲しいと願います。

まだまだ、子供たちには伸びしろがあり、進化・深化することができ、未知の可能性を秘めています。その力を引き出す働きかけをすることが大人の役割だと思います。

授業で 学んでいること

◇「知識及び技能」何を理解しているか。「思考力・判断力・表現力」理解していること・できることをどう使うか。「学びに向かう力・人間性等」どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか。をバランス良く育成していくことが求められています。これまでの学校の授業は、正解を教わる、答えを知ることが中心に展開されてきました。しかし、これからは正解のないことについて自ら考え最適解を導き出す力、修正する力等を付けることが求められています。

間違い、失敗、ミスは誰にでもあることです。大事なのはそれについてどう対応するかです。何度も繰り返すことで、やっとうまくいくこともあります。世に出されているものは、試行錯誤の結果だということが、全てのものにあってはまるといっても過言ではないでしょう。

革命を起こす

◇やや過激な言い方になりましたが、あなたが世の中を変えることができるということです。例えば、先日の修学旅行で行った京都・嵐山でトロッコ列車に乗りました。保津川の見事な景観の溪谷を走る列車ですが、その保津川ではライン下りも有名です。ライン下りの船頭さんが、あるときお客さんから保津川に流され溜まっているゴミを見て、景観が台無しだ。と言われたそうです。それを聞いた船頭さんが一人で保津川のゴミ拾いを始めました。20年前に一人が始めた行動が、今では亀岡市民が一丸となって環境美化に努めているそうです（初めは周囲の人たちからやじられたそうです）。

○会社の仕組みを良くする。○生活を便利により良くする。○生活しやすくする。○優しい社会をつくる。などについて世の中では様々な工夫がされていますが、何か新しいことを始めるときは、一人の発想から始まっていることが大半であるということです。一人一人に世の中を変えることができる可能性のあることを知り、力を付けて欲しいと思います。

なぜ勉強するのか？ なぜ働くのか？

◇勉強することも働くことも生きていく上では欠かせないことです。お金を稼ぐために働く、会社に就職するため勉強する。というのも生きていくためには必要で現実的なことです。でも、それ以外に働く意味はないのでしょうか。一度きりの人生です。前向きに人生を送るためにも、なぜ勉強するのか、なぜ働くのかについて、自分なりの考えを持つことはプラスに繋がると思います。ぜひ、ご家族で考えを交流させ、考えを深めさせていただければと思います。

1学期、子供たちのたくさんの活躍と成長がみられました。これも保護者、地域の皆様の御理解と御協力のお陰と感謝申し上げます。健康と安全に注意して充実した夏休みになることを願います。

～ 経験や体験から学ぶ、価値ある失敗を大切にくりトライ～